

71年前の凄惨な戦火は沖縄の穏やかで緑豊かな自然を一変させ、20万人以上の尊い命を奪い去った。

終戦直後沖縄は米国の占領地とされ、本土復帰後も日本の国土面積の0.6%しかない沖縄に日本国内の米軍専用施設の約74%が集中している。そして米軍関係者による卑劣極まりない凶悪事件や周辺地域への騒音問題、また米軍機による事故などの問題を抱えているのが現状である。平和の礎に刻まれた方々の無念、残された人々の悲しみを考えると今の沖縄の現状に強い憤りを感じる。

沖縄の問題は沖縄のみならず日本全体の問題である。若い世代に沖縄の現状や歴史を通じて戦争の凄惨さを伝えていくために平和行進は非常に有意義な場であるとする。基地があり続けている限り、平和行進は行っていくだろう。例え直ぐに変化がなくても、続けていくことに意味があると思う。一人でも多くの方が平和行進に参加し、この問題を共有出来ることを願います。

最後になりましたが、全港湾青年部の受け入れのために準備、運営をして下さった沖縄地方青年部の皆様へ感謝申し上げます。